テレビを設置する

設置と準備の進めかた

重要 本機の設置やアンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。（設置・準備費用については、お買上げの販売店にご相談ください。）

ご自分で設置と準備をされるときは、下記の順番で作業してください。

1 付属品を確認します 4

2 テレビにスタンドを取り付けます 32

3 本機を据え付けます 33

4 リモコンに電池を入れます 37

5 アンテナ線と本機を接続します 38 40

6 B-CAS カードを入れます (重要) 41

7 LAN インターフェースを接続します 42 43

8 お手持ちの機器を接続します 54

- ビデオ、DVD レコーダーなどの録画機器 55
- HDMI 出力端子付きの DVD レコーダーなど 56
- Wooo リンク対応機器 57
- ビデオカメラ 58
- DVD プレーヤー 59
- ゲーム機 60
- 光デジタル音声入力端子付きオーディオ機器 61
- CATV ホームターミナル 62

9 電源プラグをつなぎます 47

10 電源を入れます 49

11 かんたんセットアップで受信設定をします 50

メニューからの受信設定も可能です。 192

12 ISP(プロバイダー)、LAN を設定します 213 215

13 接続した外部機器を設定します 66

お知らせ

本機は、電話回線接続端子を備えておりません。電話回線を使用した視聴者参加番組などの双方向データサービスは利用できませんが、インターネット網に接続することにより、インターネットを使用した双方向データサービスを利用できるものがあります。

地上デジタル放送を受信するには

地上デジタル放送を受信するには、下記の要件がすべて整っていることが必要です。

1. 受信地点は、すでに放送地域になっていますか？

2006年12月から全国の都道府県庁所在地において地上デジタル放送が見られるようになりました。その後、その受信可能エリアは順次拡大される予定です。地上デジタル放送の受信エリアのめやすは、総務省またはお近くの地方総合通信局にお問い合わせください。

2. UHF アンテナは、地上デジタル放送に対応していますか？

UHF アンテナには全帯域型と帯域専用型がありますので、全帯域型または地上デジタル放送対応型をご使用ください。

3. UHF アンテナは、地上デジタル放送の送信塔の方向に向いていますか？

現在お住まいの地域で、地上デジタル放送の送信塔が地上アナログ放送と同じ方向の場合は、そのままの向きで地上デジタル放送を受信できますが，送信塔の方向が違う場合は、アンテナの向きを地上デジタル放送の送信塔の方向に変更する必要があります。

4. 地上デジタル放送受信機の入力信号は、所定の信号強度がありますか？

地上デジタル放送は、現在のアナログ放送との混信を避けるために、当初は非常に小さな出力で放送されますので、受信エリアが限定されます。また、受信エリア内であっても、地形やビル陰などによって電波がさえぎられる場合や電波の伝搬状況などにより、視聴できない場合があります。

●ケーブルテレビまたは共聴・集合住宅施設でご視聴の方は、ケーブル事業者または共聴施設管理者にお問い合わせください。

●地上デジタル放送を受信するためには、最初に「地域名」の設定と「初期スキャン」の操作が必要です。 204

地上デジタル放送についてのお問い合せ先

●社団法人　デジタル放送推進協会（ホームページ　http://www.dpa.or.jp）

●総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター

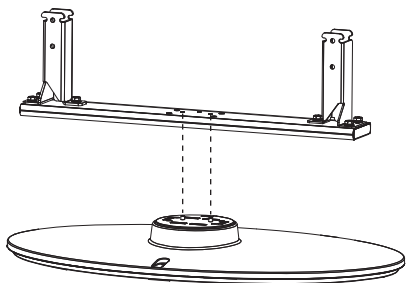
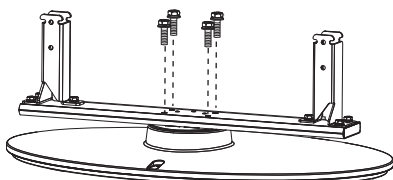
（ホームページ　http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/whatsnew/digital-broad/index.html）

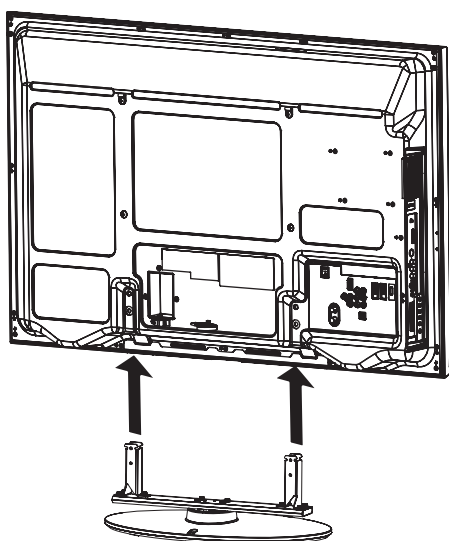
TEL　：0570-07-0101

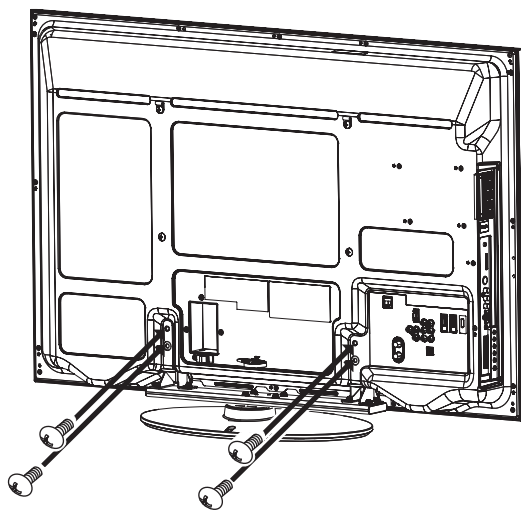
03-4334-1111（PHS、IP 電話をご使用の場合）

受付時間：9：00 ～ 21：00（月～金）、9：00 ～ 18：00（土・日・祝日）

テレビにスタンドを取り付ける

1 スタンドにスタンドサポートを取り付ける

2 スタンドとスタンドサポートを付属のスタンドサーポート取付用ネジ（6 × 25）4 本で固定する

3 テレビにスタンドの先端を差し込む

⚠注意
テレビ部は、重いので必ず 2 人以上で作業してください。

4 **付属のスタンド取付用ネジ（6 × 12）4 本で固定する**

⚠注意
スタンド取付用ネジは、先に全てのネジを仮止めした後、最後にしっかりと締め付けてください。

据え付けについて

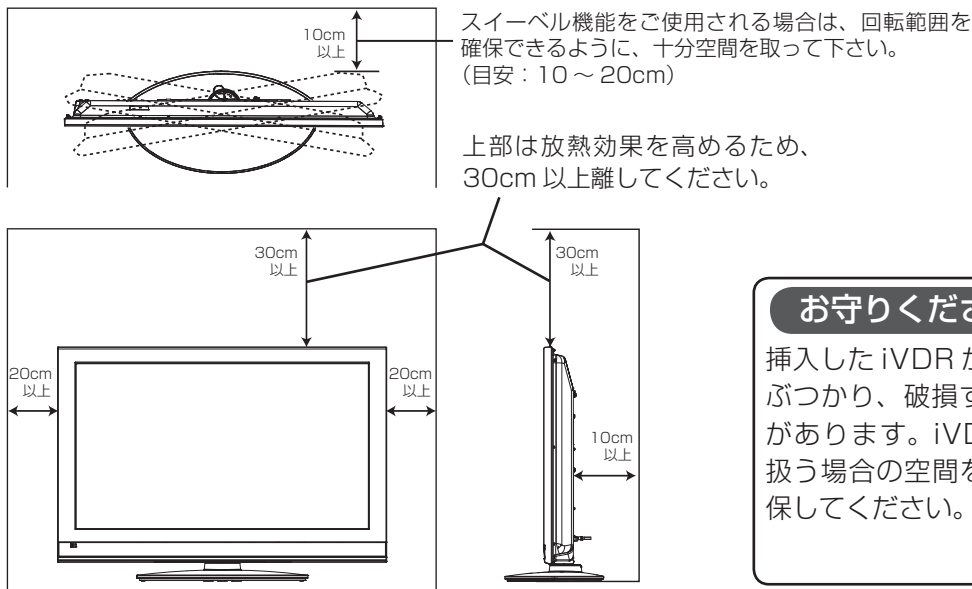
据え付けるときのご注意

① 本機の周囲は放熱のための空間を十分に確保してください。
② 密閉したケースや棚などに設置したり、通風孔をふさいだりすると内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。
③ 強い衝撃や振動が加わらない場所に設置してください。内蔵 HDD や iVDR に衝撃や振動が加わると、録画再生不良が発生しやすくなります。

スイーベル機能をご使用される場合は、回転範囲を確保できるように、十分空間を取って下さい。
（目安：10 ～ 20cm）

上部は放熱効果を高めるため、
30cm 以上離してください。

お守りください

挿入した iVDR が壁などにぶつかり、破損するおそれがあります。iVDR を取り扱う場合の空間を十分に確保してください。

⚠注意

本機の据え付けには、性能および安全性を維持するために必ず付属スタンドや専用のオプションユニットをご使用ください。付属スタンドを使用せずに、別の取り付け強度が不足する部材を使用すると、転倒したり落下して火災・感電・けがの原因となります。

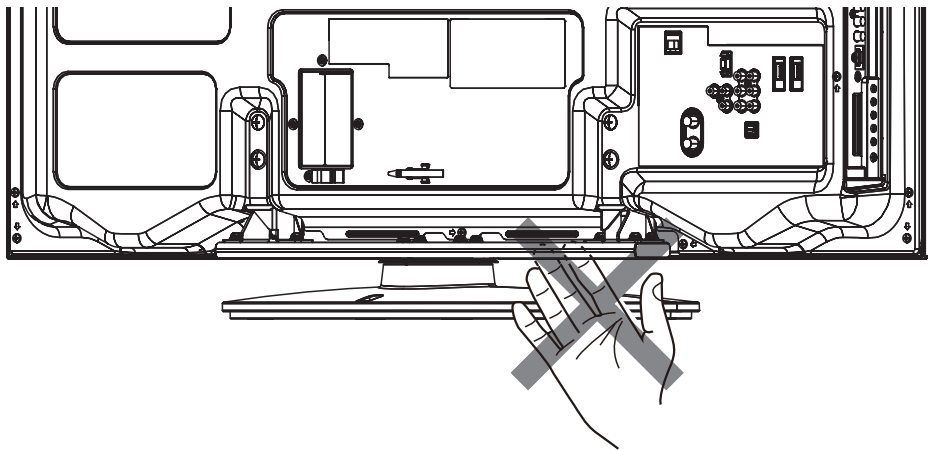
⚠注意

通風孔をふさがないように据え付けてください。
通風孔をふさぐと熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

据え付けについて（つづき）

据え付けるとき

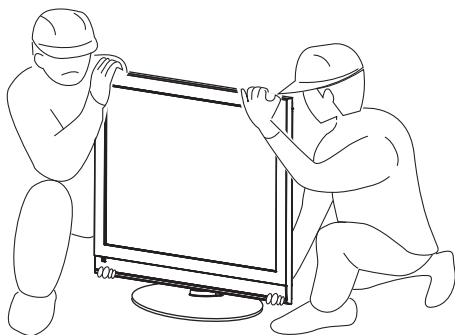
⚠注意

据え付けるときやテレビの向きを変えるときにスタンド回転部の近くに手や指を入れないでください。手や指が挟まれてけがの原因となることがあります。

壁掛け・天吊り設置の場合

⚠注意

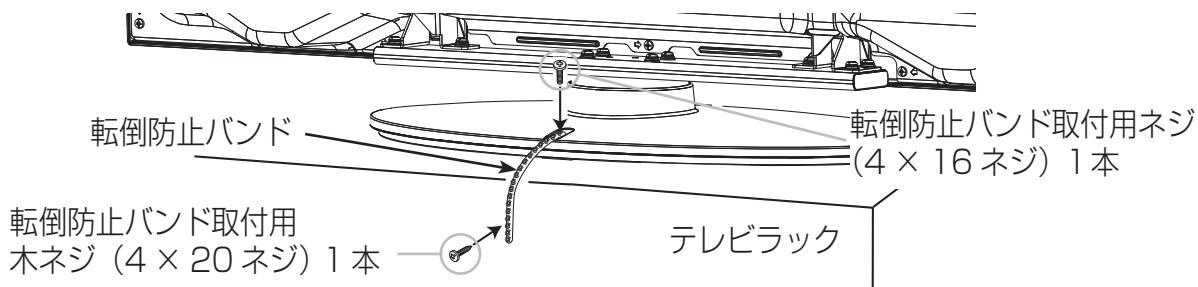
別売の専用壁掛ユニットを使用して壁に取り付ける場合は、危険ですから個人での取り付けは避け、販売店にお問い合わせの上、指定の取り付け工事業者に依頼してください。

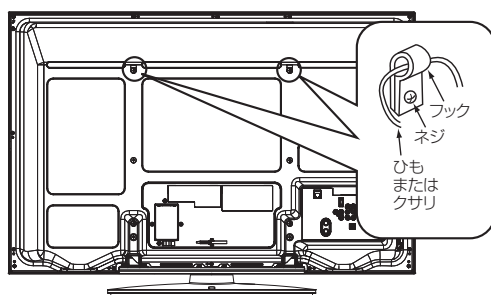
移動するとき

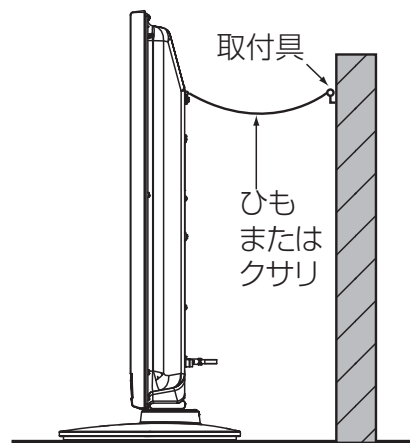
●移動するときは、二人作業で持ち運びしてください。

転倒防止について

地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害軽減するために、転倒防止対策を行ってください。

テレビラックなどにテレビを固定するとき

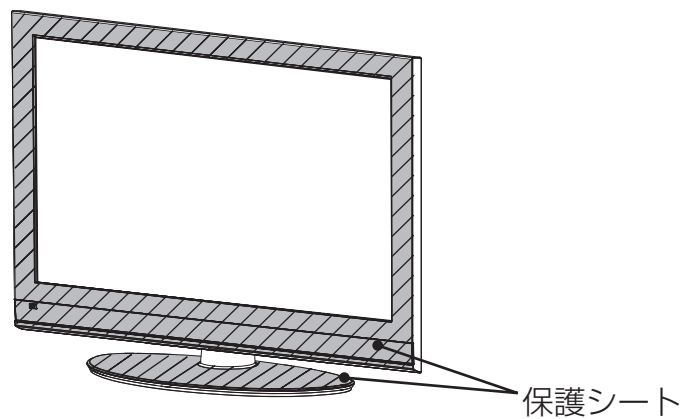
1 転倒防止バンドをスタンドに取り付け、付属の木ネジ（4 x 20）を取り付けて固定する

壁や柱などに固定するとき

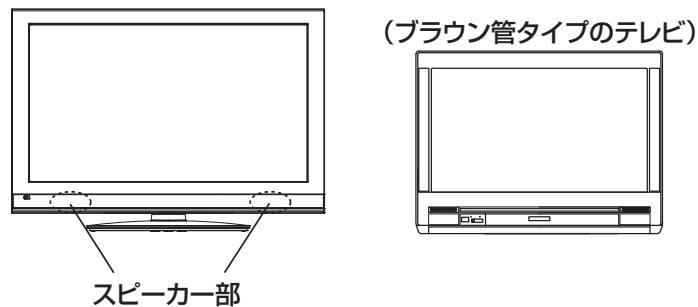
1 図のようにテレビ後面上部の穴にひもまたはクサリを通す

2 確実に支持できる壁や柱などに、しっかりと固定する

●ひもまたはクサリ、取付具は市販品をご利用ください。
●スイーベル動作させたときに、回転の支障にならない程度のひも（クサリ）の長さに調節してください。

⚠注意
転倒・落下防止器具を取り付けるテレビラックや壁の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策はけがなどの危害の軽減を意図したものですが、全ての地震に対してその効果を保証するものではありません。

据え付けについて（つづき）

保護シートについて

●本機は工場出荷時、下図の斜線部分に保護シートが貼ってありますので、設置後に取り外してお使いください。
●スタンドの保護シートは、中央部より手で破るなどして取り外してください。

お守りください

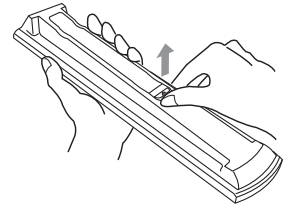
●ブラウン管タイプのテレビをスピーカー部に近づけると、ブラウン管テレビに色むらや画面揺れが発生することがありますので離して使用してください。

リモコンを準備する

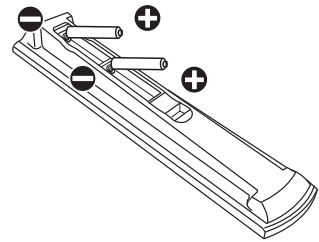
⚠注意

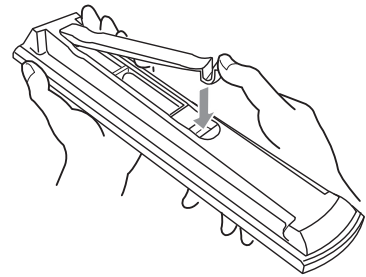
乾電池の使用上のご注意

●本機で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。
●電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラスとマイナスの向きに注意し、機器の表示通り正しく入れてください。まちがえますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

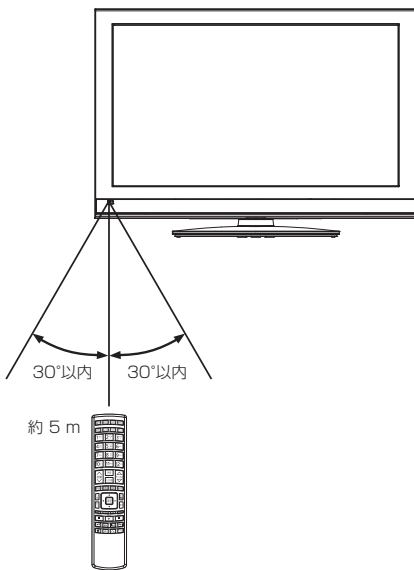
1 電池ぶたをはずす

矢印の方向に押しながら開けます。

2 乾電池を入れる

付属の単４形乾電池を⊕、⊖の表示通りに入れます。

3 電池ぶたを閉める

電池ぶたを矢印の方向に押して戻します。

●リモコンは、本体のリモコン受信窓に向けて操作します。
●リモコンは、それぞれのリモコン受信窓の正面から約５メートル、左30度、右30度の範囲内でお使いください。

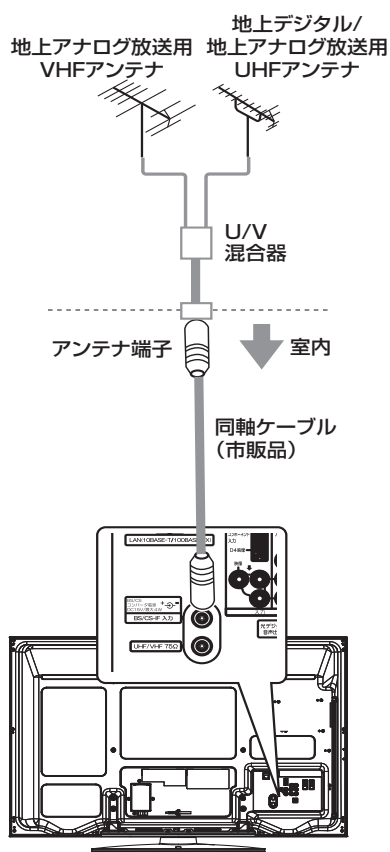
お守りください　リモコンの使用上のご注意

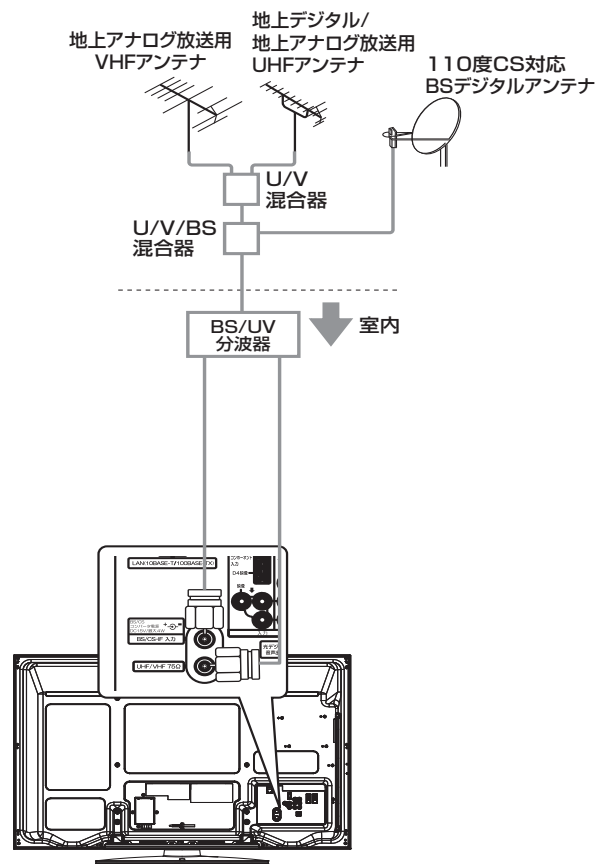
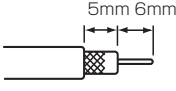
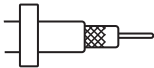
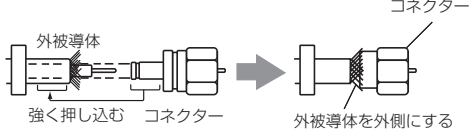
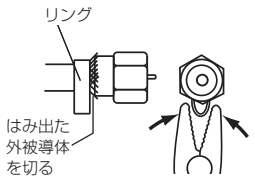
●リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
●リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因になります。
●長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
●リモコンの操作がしにくくなった場合は、乾電池を交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。単４アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。）
乾電池を入れる前に、乾布などで電池端子部をきれいにふいてください。端子部が汚れていると、接触不良のために正常に動作しないことがあります。
●リモコン受信窓に直射日光などの強い光が当たると動作しなくなることがあります。光が直接当たらないようにテレビの向きを変えてください。
●リモコン受光部23の前にものを置かないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
●電子レンジなどの加熱料理器に、リモコン送信機・乾電池を入れて加熱しないでください。発熱により火災・故障の原因になります。
●ふた無しで使用すると、金属物などで乾電池がショートし発熱、液もれ、破裂などさせるおそれがありますので、必ずふたを閉めてご使用ください。

アンテナと接続する

⚠注意
アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

①アンテナの種類に応じ、下図の要領で UHF/VHF 混合アンテナ端子に接続してください。
②地上デジタル放送を受信するときは、UHF アンテナを使用します。VHF アンテナでは受信できません。また、現在お使いのアンテナが UHF アンテナでも、調節や取り替えが必要な場合もありますので、その際は、販売店にご相談ください。
③本機の UHF/VHF 混合アンテナ端子への接続に市販の U/V 混合器やアンテナアダプターを使用する場合は、できるだけ本機より離して接続してください。
④ UHF/VHF アンテナが独立のときなど、混合器の取り付けが必要な場合は、販売店にご相談ください。
⑤ CATV ケーブルと接続するときは、伝送方式や接続について詳しくは CATV 会社にお問い合わせください。

UHF/VHF アンテナの接続

UHF/VHF アンテナが混合のとき

① 同軸ケーブル（市販品）を本機の UHF/VHF アンテナ端子に接続する。
② 同軸ケーブル（市販品）の反対側をお部屋のアンテナ端子と接続する。

BS・CS が混合のとき（例：UHF/VHF/BS 混合入力）

① BS/UV 分波器の UV 出力を本機の UHF/VHF アンテナ端子に接続する。
② BS/UV 分波器の BS 出力を本機の BS/CS-IF アンテナ入力端子に接続する。(40もご覧ください。)

お守りください

アンテナ線接続時のご注意

●アンテナ線には、妨害の少ない同軸ケーブルの使用をおすすめします。
（平行フィーダーを使用しますと受信状態が不安定となり、妨害電波を受けやすく、画面にしま模様が現れたりします。）
●やむを得ず平行フィーダーを使用する場合は、本機よりできるだけ離してください。
●室内アンテナ線も妨害電波を受けやすいので、お避けください。
●アンテナに対して、電源コードや他の接続コード類をできる限り離してください。

F 形接栓（市販品）の接続

1 先端を加工する

2 リングを通す

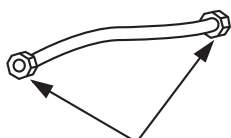
3 コネクター先端部を外被導体内側に差し込み、強く押し込む

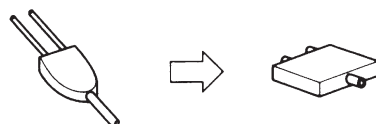
4 ペンチなどを使い、リングをコネクターの根元で固定する

きれいな映像を楽しむために

きれいな映像をお楽しみいただくには、アンテナ線や各種ケーブル類の接続状態が非常に大切です。

- アンテナ線は同軸ケーブルに F 形接栓を接続して使用することをおすすめします。

同軸ケーブル（市販品）

F 形接栓（市販品）

- BS/UV 分波器・分配器はシールドタイプの使用をおすすめします。

プラスチックタイプ（市販品）　**金属シールドタイプ（市販品）**

CATV ケーブルと接続するときの地上デジタル放送受信について

CATV には、以下のような地上デジタル放送の伝送方式があります。詳しくは、CATV 会社にお問い合わせください。

伝送方式	本機の対応
トランスモジュレーション方式	UHF 帯の地上デジタル放送をケーブルテレビ局の電波に変換して伝送します。本機のアンテナ端子に接続しても地上デジタル放送を受信できません。CATV のホームターミナルと接続してください。（62をご覧ください。）
同一周波数パススルー方式	UHF 帯の地上デジタル放送を変換しないでそのまま伝送します。本機の UHF/VHF アンテナ端子に接続して地上デジタル放送を受信することができます。
周波数変換パススルー方式	UHF 帯の地上デジタル放送を CATV で伝送可能な別の周波数に変換して伝送します。本機の UHF/VHF アンテナ端子に接続して地上デジタル放送を受信することができます。

アンテナと接続する（つづき）

BS/CS アンテナの接続

接続するときには安全のため、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。下記メッセージが表示される場合は、テレビの電源を切ってから 110 度 CS 対応 BS デジタルアンテナを確認し、もう一度電源を入れてください。現象がなおらない場合は、コンバーター電源を「切」に設定 211 して、お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠注意
アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

1 BS/CS アンテナ線の同軸ケーブルを F 形接栓（市販品）に接続する 39

UHF、VHF、BS が混合されているときには、BS/UV 分波器 (市販品) が必要です。39

2 F 形接栓を BS/CS-IF 入力端子に接続する

BS/CS-IF 入力端子は、BS コンバーターからの信号を受けるための端子です。また、この端子から BS コンバーターに DC ＋ 15V を供給します。BS アンテナ線を接続するときには必ずテレビの電源を切ってください。

お守りください

- 共聴受信等で視聴される（電源供給を必要としない）場合には、「受信設定（BS・CS）」211 をご覧になって、コンバーター電源の設定を必ず「切」にしてご使用ください。
- アンテナを接続するときは、安全のため、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- BS/CS-IF 入力端子に F 形接栓を接続するときは、手で緩まない程度に締めつけてください。締めつけすぎると本機内部が破損する場合があります。

アンテナ線の接続についてのご注意

衛星放送を分配して他の機器で (衛星放送を) 視聴する場合、分配器は必ず多端子タイプの電流通過形をご使用ください。多端子タイプ電流通過形でない場合は、アンテナに供給している機器の電源を切ると、他の機器で衛星放送が受信できなくなります。

お知らせ

- アナログ CS 用アンテナや従来のスカイパーフェク TV ！用アンテナ（JCSAT-3、JCSAT-4 受信用）はご使用になれません。110 度 CS デジタル放送を受信する場合は、110 度 CS 対応 BS デジタルアンテナをご使用ください。
- ブースターや分配器をご使用になる場合は、110 度 CS 対応（周波数 2,150MHz 対応以上）であることをご確認の上、ご使用ください。従来の BS 用で周波数帯域が 1,335MHz のものや、CS 対応でも対応周波数が 1,895MHz などの 2,150MHz 未満のものをご使用になった場合、110 度 CS デジタル放送の一部もしくはすべてのチャンネルが受信できない場合があります。
- マンションなどの共同受信システムの場合で、110 度 CS デジタル放送に対応していない場合は、110 度 CS デジタル放送を受信できません。
- BS アンテナを使用する場合は、BS デジタル放送のみの受信が可能です。この場合、従来の BS アンテナのほとんどは使用できますが、一部の BS アンテナでは性能の劣化や BS デジタル放送受信に必要な性能が確保されず、BS デジタル放送を受信したとき、安定した受信ができないことがあります。このようなときは、BS アンテナ製造元のお客様窓口や、BS アンテナを購入した販売店などにお問い合わせください。

メ　モ

BS/CS アンテナ線の接続についてのお願い

- F 形接栓（市販品）をご使用ください。
- アンテナの方向調整、設置についてはアンテナの取扱説明書をご覧いただくか、お買い上げの販売店にご相談ください。

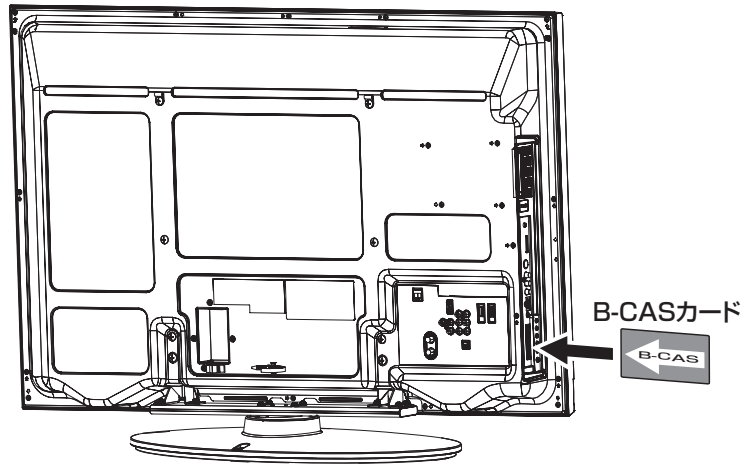
映りがよくないときには

衛星放送の電波は微弱なため、受信するにはアンテナ方向の正確な調整が必要です。もし、時々映像や音声が出なくなったりするときは販売店にご相談ください。また、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声が止まったり、ひどい場合にはまったく受信できないことがあります。これは、気象条件によるもので、アンテナやチューナーの故障ではありません。受信レベルについては 209 をご覧ください。

B-CAS カードを挿入する (重要)

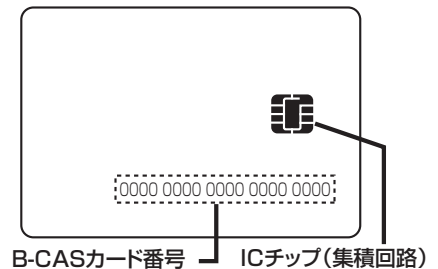
本機に付属の B-CAS カードは、本機の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で、下記の手順に従って挿入してください。

1 B-CAS カードを挿入する

図のように、B-CAS カード表面の矢印の向きを挿入口へ合わせ、挿入が止まるまでゆっくりと押し込みます。

メ モ

B-CAS カード番号 (カード ID) は、カードを挿入したままでも本機で確認することができます。
操作方法は、「インフォメーションの確認」81 をご覧ください。

B-CAS カードについて

本機に付属の B-CAS カードには 1 枚ごとに違う番号（B-CAS カード番号）が付与されています。B-CAS カード番号はお客様の有料放送契約内容などを管理するために使われている大切な番号です。「（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター」への問い合わせの際にも必要となります。
B-CAS カードの取り扱いの詳細については、カードの台紙に記載されている説明をご覧ください。
B-CAS カードのお問い合わせ先については、253 をご覧ください。

お守りください

B-CAS カード取り扱い上の留意点

- B-CAS カードを折り曲げたり、変形させないでください。
- B-CAS カードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
- B-CAS カードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
- B-CAS カードの IC チップ（集積回路）部には手をふれないでください。
- B-CAS カードの分解加工は行わないでください。
- B-CAS カードは上記手順をご覧のうえ、本機の B-CAS カード挿入口に、奥まで正しく挿入してください。B-CAS カードを正しく挿入しないと、有料放送や一部のデータ放送を視聴することができません。
- ご使用中に B-CAS カードの抜き差しはしないでください。デジタル放送が視聴できなくなる場合があります。

B-CAS カードを抜くとき

万一、抜く必要があるときは、本機の電源プラグを電源コンセントから抜いたあと、ゆっくり B-CAS カードを抜いてください。B-CAS カードには IC チップ（集積回路）が組み込まれているため、画面に B-CAS カードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

お知らせ

- 本機専用の B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うと B-CAS カードは機能しません。
- WOWOW、スターチャンネルなどの有料サービスを受けるには、B-CAS カードの登録のほかに個別の受信契約が必要になります。詳しくはそれぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

LAN インターフェースと接続する

本機では、インターネット接続サービスやデジタル放送の新しい双方向サービスに対応するため、インターネット網に常時接続環境で接続する LAN インターフェースを装備しています。

インターネット環境の準備

インターネットに接続するには、ブロードバンド環境が必要です。
以下の流れを参考に、インターネットへの接続環境を準備してください。

プロバイダーとの契約

本機でインターネットサービスを楽しむためには、まず回線業者やインターネット接続サービスを行う接続業者“インターネットサービスプロバイダー（ISP）”との契約が必要です。これまでインターネットをお使いになるための契約を行っていない場合は、回線業者やインターネットサービスプロバイダーとインターネットに接続するための契約を行ってください。
契約によって、本機をインターネット網に常時接続するための各種設定情報を入手することができます。

インターネット網との接続

ADSL 接続環境、CATV 接続環境、光ファイバー（FTTH）接続環境と、ご利用の環境に応じて、44 のように、インターネット網と本機を接続してください。アクトビラなどで映像コンテンツを再生する場合は、光ファイバー（FTTH）接続が必要です。接続に使用する機器は、回線業者やインターネットサービスプロバイダーに指定された製品を使い、指定された各種設定情報をパソコンまたは本機で設定してください。
使用するブロードバンドルーターによっては、パソコンによる設定が必要となる場合もあります。このような機器を使用する場合は、パソコンを接続して設定を行ってください。

ブロードバンドモデム、ブロードバンドルーターの設定

ADSL モデムやケーブルモデムなどのブロードバンドモデム、ブロードバンドルーター（以下、ルーター）の設定については、接続する環境や使用するモデム、ルーターごとに異なります。回線業者やインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。
なお、インターネットからの不正アクセスなどを防止するために、本機のインターネット接続にはルーターをご使用になることを推奨します。

ルーターへの接続設定

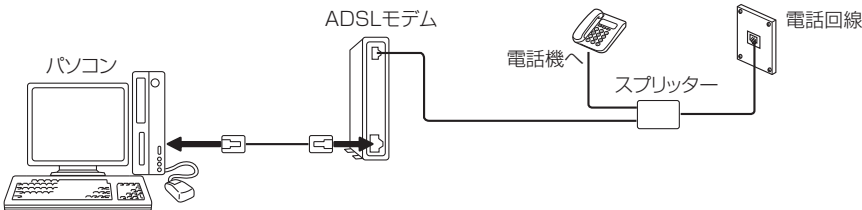
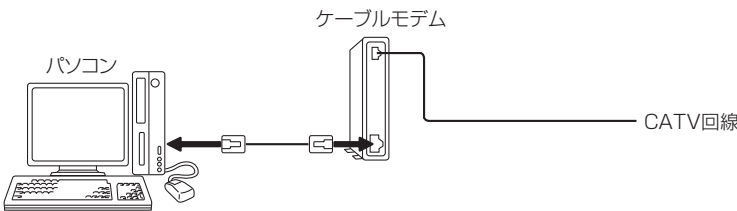
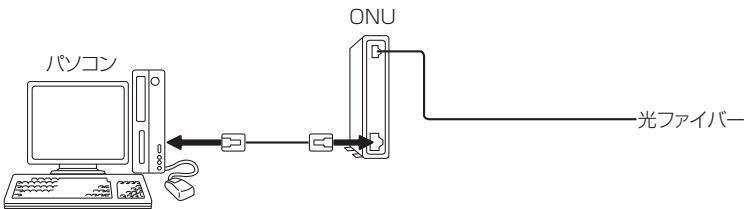
ご利用のルーターと本機を接続するために、本機に IP アドレスの設定が必要な場合には、213 のように設定します。
お買い上げ時における本機の IP アドレス設定は、ルーターから自動的に DHCP で取得するモードに設定されていますので、ご利用のルーターが DHCP を用いて接続可能な場合には、この設定は不要です。

通信テスト

インターネットサービスを快適に利用していただくために、あらかじめ通信テストを行ってください。正しく接続・設定されているか、インターネットに接続できるかを確認します。（通信テストについて 216 ）

既存接続環境の確認

すでに常時接続環境をお使いの場合、次の図のように ADSL モデムやケーブルモデム、ONU に 1 台のパソコンを直接接続されている場合は、ブロードバンドルーターなどの機器を追加したり、設定を変更したりする必要があります。

ADSL モデムにパソコンを直接つないでいる

ケーブルモデムにパソコンを直接つないでいる

ONU にパソコンを直接つないでいる

これらの環境でパソコンのインターネット接続をしている場合は、本機を接続するために以下の点にご注意ください。

●モデムや ONU がルーター機能を持っていない場合

パソコン 1 台だけが接続できる環境になっています。本機を接続するためには、別途市販のブロードバンドルーターを追加する必要があります。また、プロバイダーが PPP（PPPoE）で接続するタイプの場合、プロバイダーから提供される情報をブロードバンドルーターに設定する必要があります。接続例の「ADSL 接続の場合（1）」、「CATV 接続の場合（1）」、「FTTH の場合（1）」をご覧ください。

●モデムや ONU がルーター機能を持っているがルーター機能を使わない設定になっている場合

パソコン 1 台だけが接続できる環境になっています。本機を接続するためには、ルーター機能を使う設定にする必要があります。プロバイダーが PPP（PPPoE）で接続するタイプの場合、プロバイダーから提供される情報をルーターに設定する必要があります。お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

●モデムや ONU がルーター機能を持っていて機能しているが、LAN インターフェースがパソコンに占有されている場合

本機を接続するために、別途市販のハブを追加する必要があります。
接続例の「ADSL 接続の場合（2）」、「CATV 接続の場合（2）」をご覧ください。

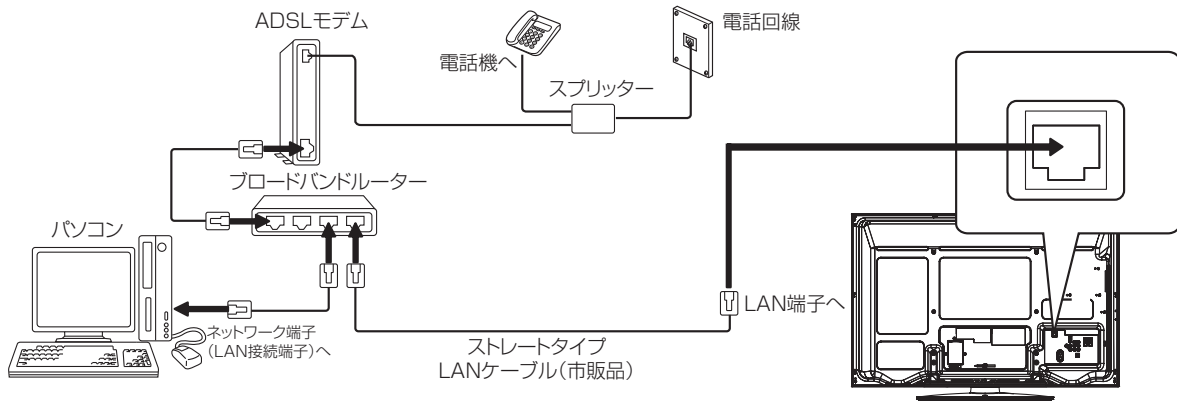
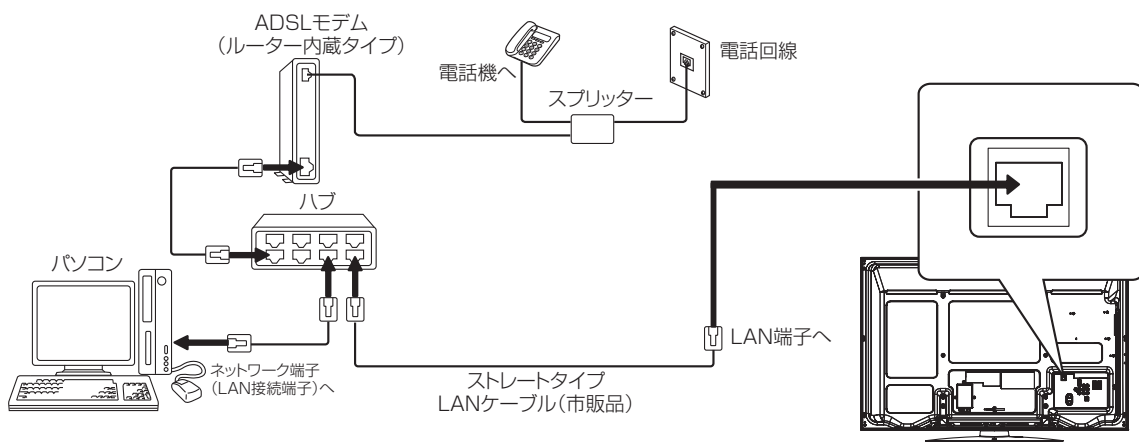
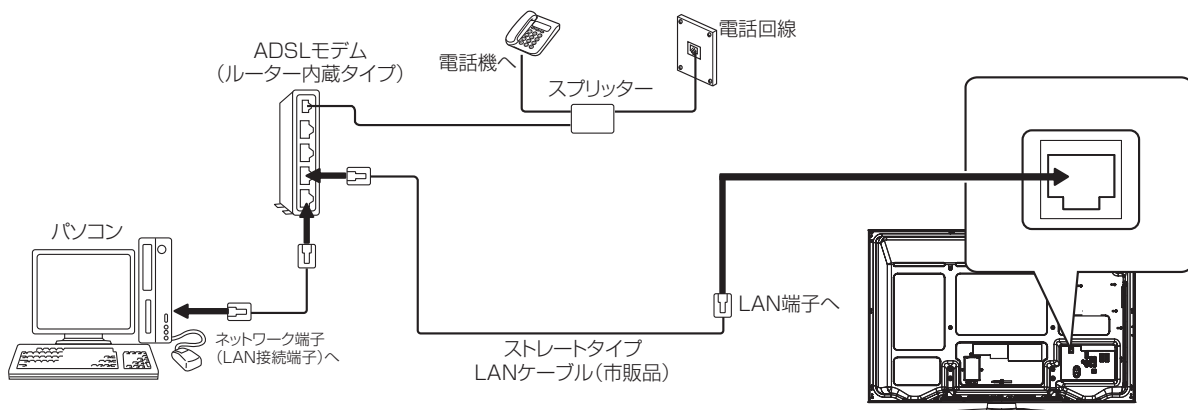
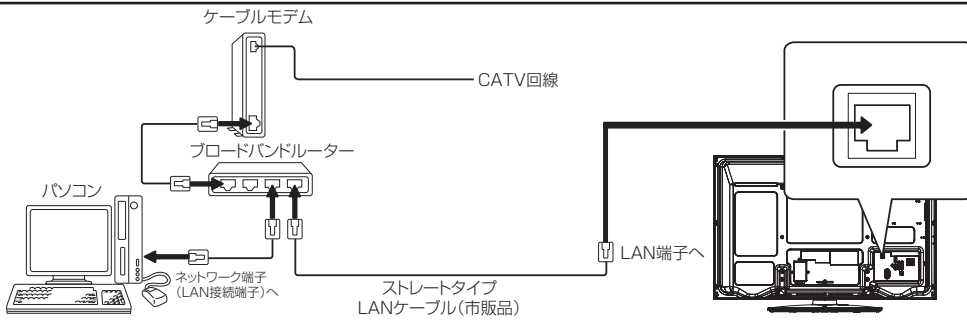
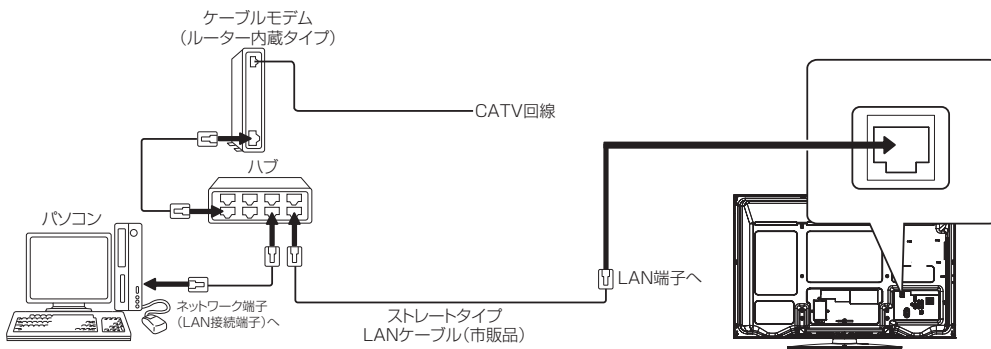
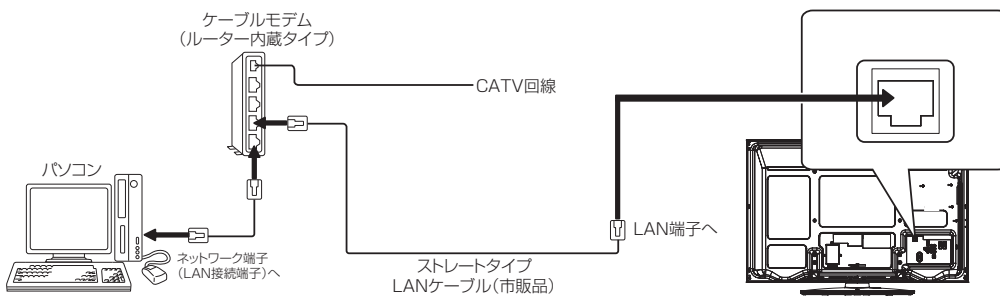
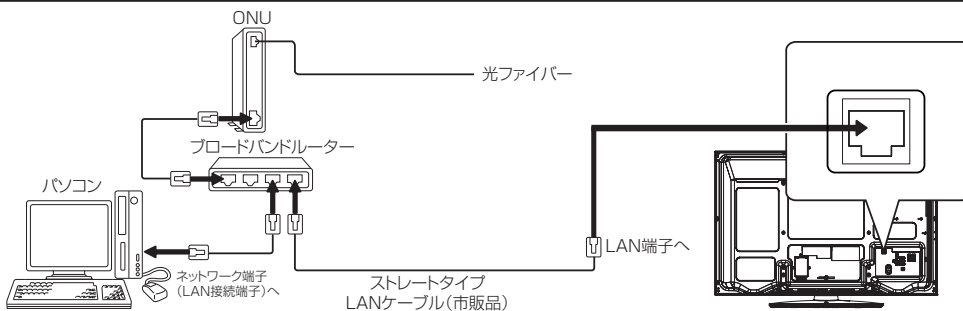
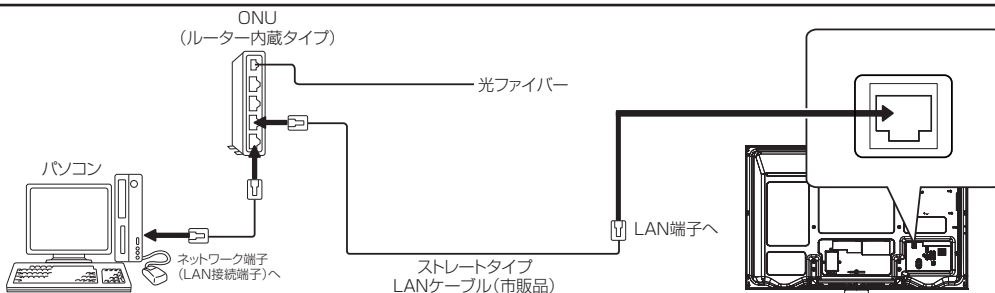
お知らせ

プロバイダーや回線業者によっては契約の内容によって接続できる機器の台数を制限している場合があります。ご契約内容やブロードバンドルーターなどのネットワーク機器の追加については、お使いのプロバイダーや回線業者にご確認ください。また、ご自身でブロードバンドルーターやハブを追加される場合は、それぞれの機器の販売店等にご相談ください。

LAN インターフェースと接続する（つづき）

接続例

ご利用の環境に応じ、以下の例を参考にして本機の LAN インターフェースを接続してください。
なお、以下の図ではパソコンを含んだ接続を例として記載していますが、本機でアクトビラなどサービスを受けるためのインターネット接続や、ご家庭内での AV ネットワーク機能のご利用にあたり、パソコンは必須ではありません。

ADSL の場合（1）：ADSL モデム（ルーター非内蔵タイプ）との接続

ADSL の場合（2）：ADSL モデム（ルーター内蔵タイプ）との接続（LAN 接続端子に空きがない場合）

ADSL の場合（3）：ADSL モデム（ルーター内蔵タイプ）との接続（LAN 接続端子に空きがある場合）

CATV の場合（1）：ケーブルモデム（ルーター非内蔵タイプ）との接続

CATV の場合（2）：ケーブルモデム（ルーター内蔵タイプ）との接続（LAN 接続端子に空きがない場合）

CATV の場合（3）：ケーブルモデム（ルーター内蔵タイプ）との接続（LAN 接続端子に空きがある場合）

FTTH の場合（1）：ONU またはメディアコンバーター（ルーター非内蔵タイプ）との接続

FTTH の場合（2）：ONU またはメディアコンバーター（ルーター内蔵タイプ）との接続

LAN インターフェースと接続する（つづき）

お守りください

●電話用のモジュラーケーブルは、LAN 端子の接続には使用できません。無理に挿入すると故障の原因となります。

お知らせ

● ADSL モデムやケーブルモデムとブロードバンドルーターやハブの接続については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
●本機のブラウザはプロキシーサーバーに対応していますが、動画コンテンツサービスの多くはプロキシーに対応していません。そのようなサービスでプロキシーをご利用になると正常に視聴できない場合があります。
●本機でインターネット網に接続するには、回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約が必要です。未契約の場合は、回線業者やプロバイダーと契約してください。
●回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約によっては、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
●本機のインターネット接続は、アナログモデムおよび ISDN によるダイヤルアップ接続には対応しておりません。
●本機は、10BASE-T/100BASE-TX 規格に準拠した LAN インターフェースを装備しておりますので、この規格に準拠した LAN ケーブルを使用してください。
●アクトビラの動画コンテンツを視聴するときは、光ファイバ（FTTH）でのブロード環境が必要です。
100BASE-TX 対応のハブまたはブロードバンドルーターをご使用ください。
また、LAN ケーブルは、「カテゴリ 5」以上のものをご使用ください。
●本機には、無線 LAN 機能を内蔵しておりません。無線 LAN 接続をする場合、通信速度が安定しない場合など映像が乱れたり、途切れたりする場合がありますので、LAN ケーブルによる接続をおすすめします。
● ADSL モデムやスプリッター、ケーブルモデム、ブロードバンドルーター、ハブ、ケーブルなどは、回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約をご確認の上、指定された製品を使って、接続や設定を行ってください。
● ADSL モデムやケーブルモデムについてご不明な点は、ご利用の ADSL 回線業者や CATV 事業者またはインターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。
●ブロードバンドルーターに固定 IP で接続する場合は、ISP 設定について 213 で「IP アドレス取得」を「手動」に選択し、必要な項目を設定してください。
●ブロードバンドルーターによっては、パソコンによる設定が必要な場合があります。このようなルーターを使用する場合は、パソコンを接続して設定を行ってください。
●本機では、アナログモデムによるインターネット接続を前提とするデータ放送サービスはご利用できません。
●本機の LAN 端子は、必ず電気通信端末機器の技術基準認定品ルーターなどに接続してください。

メ　モ

ADSL(Asymmetric Digital Subscriber Line) について
従来の電話用メタリックケーブル上で実現される高速デジタル伝送方式の一つです。すでに一般家庭に広く普及している電話線を使って、インターネットへの高速で安価な常時接続環境を提供する技術であり、現在、インターネット常時接続の主流となりつつあります。

FTTH(Fiber To The Home) について
光ファイバーを家庭まで直接引き込み、超高速・広帯域の通信環境を提供するサービスのことです。2001 年から NTT 東日本・西日本が光ファイバーによる常時接続サービスの B フレッツを開始しています。CATV や ADSL を超える高速通信が可能です。

ONU(Optical Network Unit) とメディアコンバーターについて
光ファイバー加入者通信網における、パソコンなどの端末機器をネットワークに接続するための装置で、加入者宅に設置されます。

電源プラグを接続する

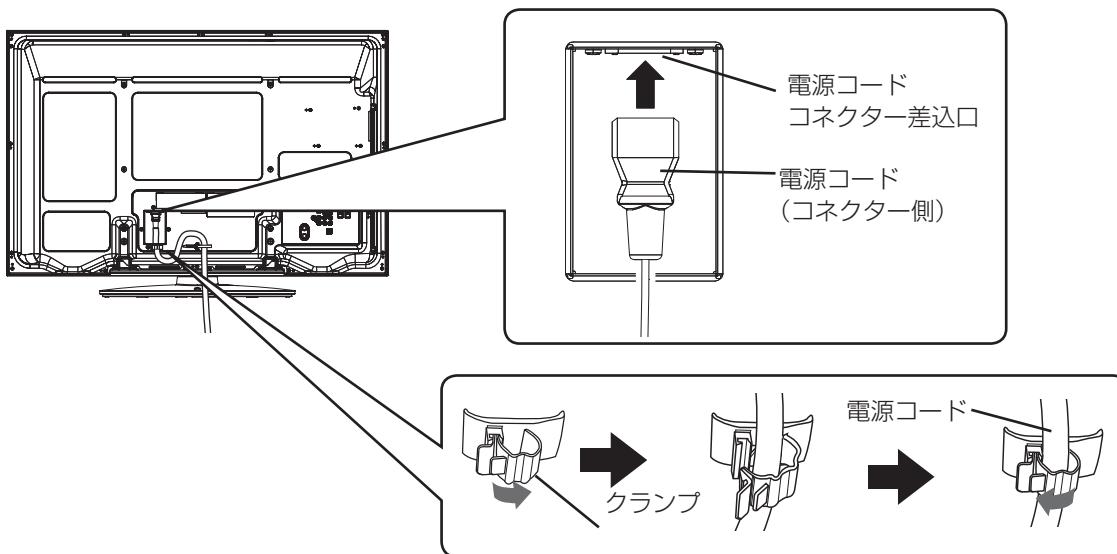
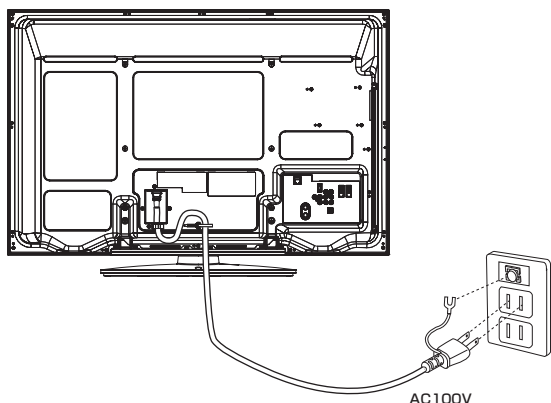
⚠警告

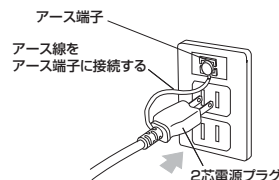
指定の電源電圧でご使用ください。表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠注意

- 電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付けてください。本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。
- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

1 テレビに電源コードを接続し、クランプで固定する

- 電源コードコネクター差込口に、まっすぐ奥まで差し込んでください。

2 テレビの電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグのアース線接続について

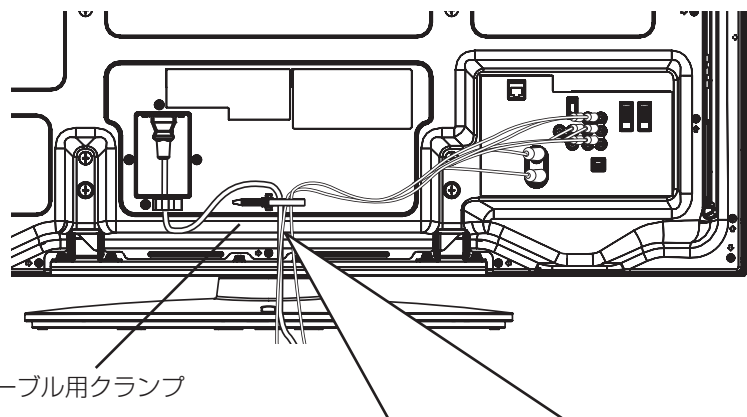
- アース線の接続は、必ず電源プラグを電源に接続する前に行ってください。
- アース接続をはずす場合は必ず電源プラグを電源からとりはずしてから行ってください。

お知らせ

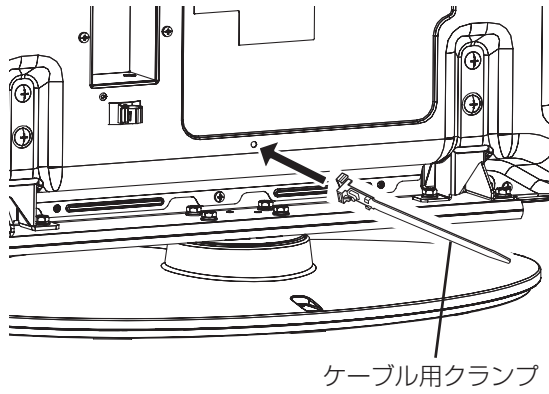
3 芯コンセントを使用しアース接地ができない場合は、お客様相談センター 273 へお問い合わせください。

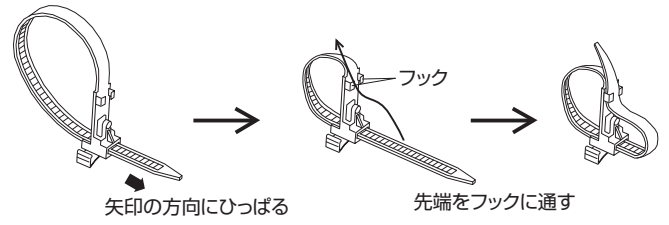
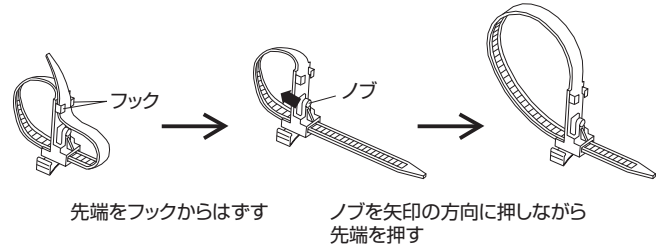
3 芯コンセント

電源プラグを接続する（つづき）

ケーブルの固定について

電源コード、RF ケーブル、ビデオコードなどと一緒にケーブル用クランプで固定してください。

ケーブル用クランプを取り付ける

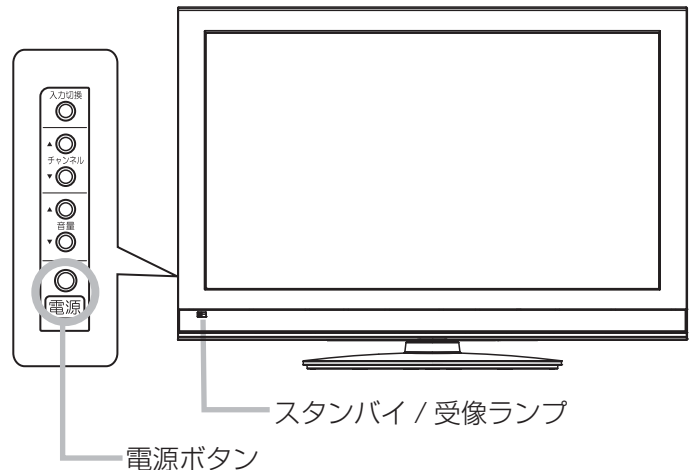
付属のケーブル用クランプを本体後面カバーの穴に差し込みます。

ケーブル用クランプの留めかた

留める

はずす

電源を入れる

電源を入れる

1 本体の電源ボタンを押す

本体のスタンバイ / 受像ランプが緑色に点灯し、電源が入ります。

- 電源を「切」にするときは、本体の電源ボタンを押します。スタンバイ / 受像ランプが消灯し、電源が切れます。
- 電源を「スタンバイ」状態にするときは、リモコンの電源ボタン 電源 を押します。スタンバイ / 受像ランプが赤色に点灯し、電源がスタンバイ状態になります。

お知らせ

スタンバイ / 受像ランプについて

- スタンバイ / 受像ランプが赤色に点灯しているときに、リモコンの 電源 を押すと電源が入ります。
- 電源を「入」にしたあと、画面が出るまではスタンバイ / 受像ランプ (緑色) が点滅します。
- スタンバイ / 受像ランプが消灯しているときは、リモコンでは電源は入りません。本体の電源ボタンを押してください。
- 電源「切」時、スタンバイ / 受像ランプが消灯している場合でも、微弱な電流が流れています。
- 電源が「切」の状態（スタンバイ / 受像ランプ：消灯）で、停電や AC 電源ランプを抜いた場合などで AC 電源が一度切れた場合は、電源はスタンバイ状態（スタンバイ / 受像ランプ：赤色点灯）に戻ります。

すぐに操作できるようにする（高速起動）

電源がスタンバイ状態から操作がすぐにできるように設定できます。
メニュー「各種設定」の「高速起動」を設定してください。187

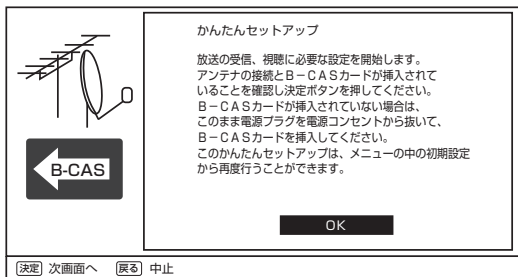
お知らせ

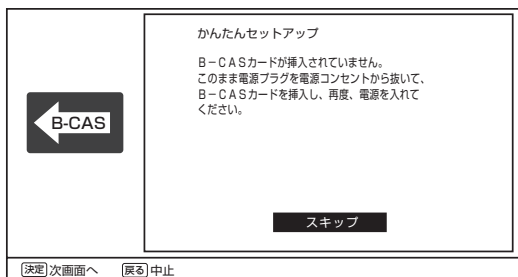
- 高速起動を設定すると、電源を切ったときの待機消費電力が増加します。
- 本体のスタンバイ / 受像ランプが消灯しているときは、高速起動は働きません。

かんたんセットアップをする

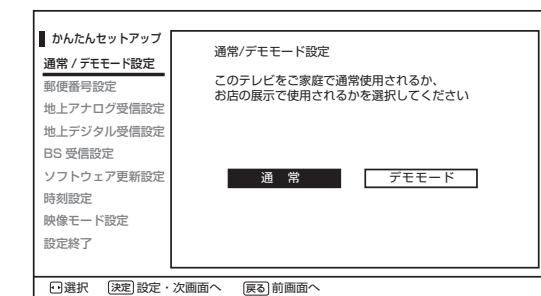
本機の電源をはじめて入れると、かんたんセットアップが自動的に起動します。かんたんセットアップはテレビ放送の視聴に必要な設定を行うための機能です。
メニューの「各種設定」－「初期設定」－「受信設定」画面の「かんたんセットアップ」から再度行うことができます。192
メニューの「各種設定」－「初期設定」－「受信設定」画面の「受信設定（地上アナログ）」、「受信設定（地上デジタル）」等から個別に設定することもできます。193、204

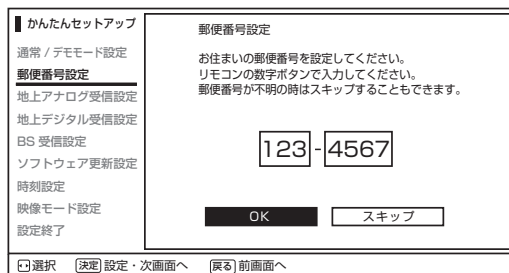
かんたんセットアップ起動後・・・

1
決定を押す

- 決定を押すと、通常 / デモモード設定へ進みます。
- 戻るで、かんたんセットアップを終了します。

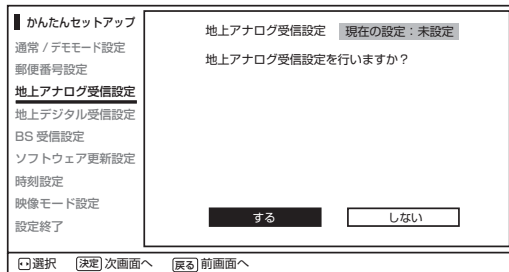
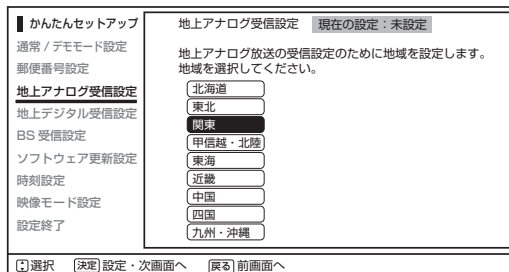
B-CAS カードが挿入されていない場合

電源プラグを電源コンセントから抜いて、B-CAS カードを挿入して、再度電源を入れてください。

通常 / デモモードを設定する

2 ◁▷で「通常」か「デモモード」を選択し、決定を押す

郵便番号を設定する

3 お住まいの地域の郵便番号（7 桁）を 1～10 で入力し、△▽で「ＯＫ」を選び、決定を押す

「スキップ」を選択すると、郵便番号を設定しないで次へ進みます。

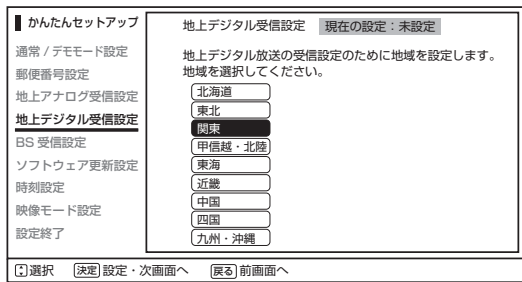
地上アナログの受信設定をする

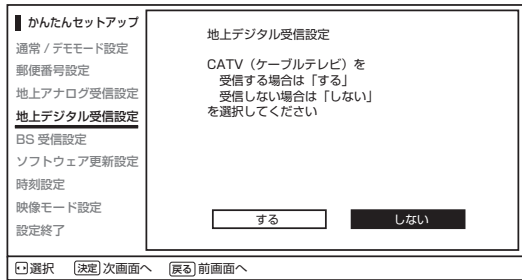
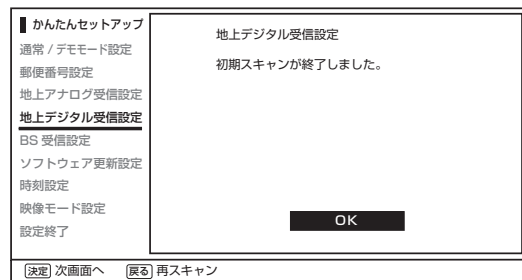
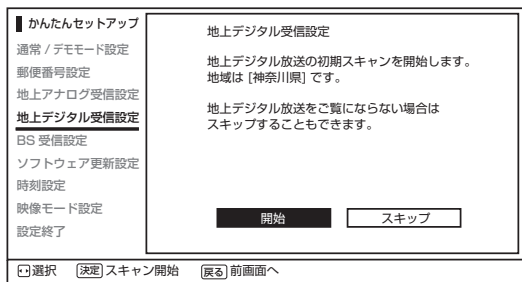
4 ◁▷で「する」「しない」を選び、決定を押す

5 △▽でお住まいの地域を選び、決定を押す

「地域」「都道府県」「市町村」の順に設定します。

お知らせ

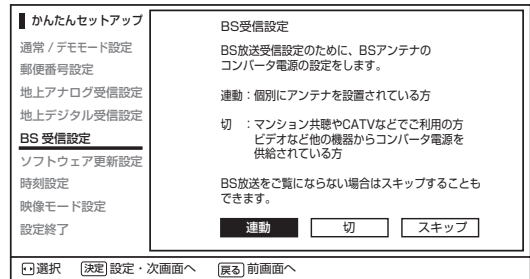
- 該当する地域がない場合は、4で「しない」を選択し、かんたんセットアップ終了後、メニューの受信設定（地上アナログ）193で再設定を行ってください。
- お住まいの地域または最寄りの地域を選んでください。
- 複数の同一都市名があるときは、地域番号一覧表 194 の受信チャンネルを参考に選んでください。
- 場所によっては放送局が異なり、正しく受信できない場合があります。53

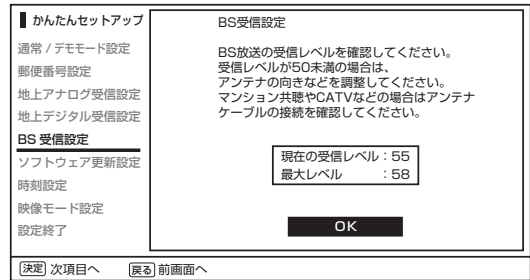
地上デジタルの受信設定をする

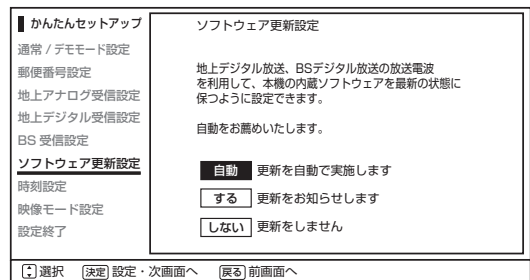
6 [▲▼]でお住まいの地域を選び、[決定]を押す

「地域」「都道府県」の順に設定します。

7 ケーブルテレビを受信する場合は「する」、受信しない場合は「しない」を[◀▶]で選択し、[決定]を押す

8 [◀▶]で「開始」を選び[決定]を押す 初期スキャン終了後、[決定]を押す

地上デジタル放送をご覧にならない場合は「スキップ」を選択してください。地上デジタルの受信を設定しないで次に進みます。

BS の受信設定をする

9 [◀▶]で「連動」「切」「スキップ」のいずれかの項目を選び、[決定]を押す

連動　　：個別にアンテナを設置されている方
切　　　：マンション共聴や CATV などでご利用の方
　　　　　ビデオなどの他の機器からコンバーター電源を供給されている方
スキップ：BS 放送をご覧にならない場合

10 [決定]を押す

ソフトウェア更新設定をする

11 [▲▼]で「自動」「する」「しない」のいずれかの項目を選び、[決定]を押す

自動　：更新を自動で実施します（推奨）
する　：更新をお知らせします
しない：更新をしません

かんたんセットアップをする（つづき）

日付・時刻の設定をする

12 設定または変更したい個所を◀▶で選び、▲▼で設定する
最後に「OK」を選んで決定を押す

映像モードの設定をする

13 ▲▼で映像モードを選択し、決定を押す

かんたんセットアップの終了

14 決定を押し、かんたんセットアップを終了します

かんたんセットアップはメニューの受信設定から再度行うことができます。

お知らせ

日付・時刻の設定について

- BS・CS デジタル放送または地上デジタル放送を受信している場合は、デジタル放送の時刻情報で自動的に時刻を設定します。その場合、本ページの手順で日付・時刻を設定することはできません。
- アクトビラに接続する場合、日付・時刻が設定されている必要があります。

お知らせ

- 地上アナログ放送が正しく受信できない場合や、他のチャンネルを追加したい場合は、メニューの受信設定（地上アナログ）200で再設定を行ってください。
- インターネット接続またはデータ放送で必要となるISP 設定は、メニューの「ISP 設定」213 から行うことができます。